

ごあいさつ

園長先生
主任先生

こどもの本の童話館グループ
〒850-0055 長崎市中町5-21
☎095(828)0620 FAX 095(828)2373
URL <http://www.douwakan.co.jp>
Eメール info@douwakan.co.jp



代表 川端 翔

謹啓 長崎市の、こどもの本の童話館です。いつも、小冊子「絵本のある子育て」をとおして、たいへんお世話になっております。

子どもたちはもとより、そのそばにいる皆さまもまた、不安や不便を抱えながら日々をお過ごしのことと思います。せめて、そのようななかでも、楽しく穏やかな時間を持てるよう、ひとりでも多くの方が絵本のもたらす良いことに出会えるよう、心から願っております。

このたび、小冊子「絵本のある子育て」の最新版ができあがりしましたので、お届けいたしました。お手数をおかけいたしますが、配布していただけたらさいわいです。

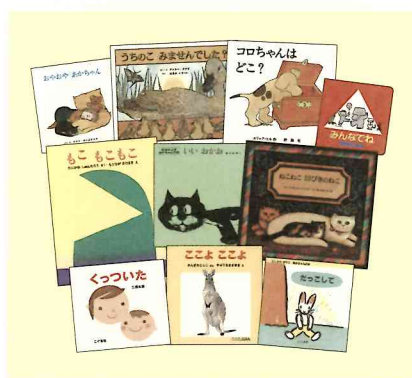
これからも、子どもと家族に寄り添う姿勢を大切に、歩んでいきたいと思っております。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

謹白

3、新しく絵本をご購入される際は、お声かけください。

園におすすめの絵本のセットをご用意いたしました。その他、ご予算や用途に合わせての選書もいたします。「絵本のコーナーを充実させたい」「記念品として、子どもたちに絵本をプレゼントしたい」など、絵本についてお手伝いできることがありましたら、お気軽にご相談ください。

●おすすめの絵本セット● ※単品でもご注文いただけます。



およそ0～1才セット (10冊)
11,330円 (税込)



およそ2才セット (10冊)
11,330円 (税込)



およそ3才セット (10冊)
13,640円 (税込)



およそ4才セット (10冊)
12,870円 (税込)



およそ5才セット (10冊)
13,875円 (税込)



日本の昔話セット (10冊)
13,200円 (税込)



外国の昔話セット (10冊)
13,200円 (税込)

ご注文方法・お支払い方法など

- ・ご注文は、同封のFAX専用紙や返信はがき、電話で承ります。
- ・ご注文受付後、こちらから、注文内容確認のご連絡をいたします。
- ・受注後、およそ10日前後でのお届けとなります。
- ・5冊以上の注文で送料無料です。(5冊未満の送料は全国一律300円です。)
- ・お支払いは、銀行振込でお願いいたします。(振込先は請求書に記載してあります。)
- ・価格は、2021年5月時点での価格です。出版社の都合により変更になる場合もございます。
- ・品切れになる場合もございます。どうぞご了承ください。

お問い合わせ・ご注文 ☎095-828-0620 FAX095-828-2373 ㈱童話館 企画広報課



絵本のある子育て

絵本の定期便——親と子の童話館ぶっくらぶ

特集

- ① 絵本の秘密と魅力
- ② テレビなど電子メディアと子ども
- ③ 私たち家族に、絵本がこれほど豊かな恵みをもたらすなんて…



『おやおや あかちゃん(全2冊)』
(童話館出版)

発行 | こどもの本の童話館グループ
〒850-0055 長崎市中町5-21 ☎050(3538)6908

「絵本のある子育て」商標登録済

ここに、 こんなに かけがえのない 親と子の宝があります。

文 川端 強

今、皆さんは、赤ちゃんや幼いひとと、にぎやかな日々をお過ごしのことでしょう。そして、皆さんは、お子さんが、心豊かに、できれば、思慮深く育てほしいと、願っておられるのだと思います。なにかしら不安の多いこの社会を、人間らしく生きぬいてほしいとも。

でも、そのために何をすればよいのか…。世の中には、親の気持ちを急ぎたて、迷わず情報があふれ、そのなかで、皆さんはこの小冊子を開くことで、絵本というものに出会おうとしておられます。私どもは、皆さんの、この出会いを喜びとします。なぜなら、そこには、子どもの、人としての能力を育て、親と子を幸福と信頼で包む、いくつもの宝が埋もれているからです。



『あなたって ほんとに しあわせね!』(童話館出版)

絵本・その魔法の力

「家庭に絵本があると、子どもとの時間に変化ができて、子どもといるのが楽しくなります」

「絵本は親と子のよい気分転換です」

「絵本を読んであげるようになると、子どもが一層愛しく思えます」

「子どもと一緒に絵本を楽しんできて、これが私の子育てと、思えるようになりました」

(「童話館びっくくへん」の親の皆さんの声)

私たちはおよそ四十年にわたり、子どもと絵本にかかわり、その間、たくさんの親の皆さんとも出会ってきました。その方々が、一様に、このように言われます。

このことは、絵本は子どもにだけ恵みをもたらすのではなく、子どもと一緒に絵本を楽しむ親(大人)へも、同じくらしいの恵みをもたらすことを語ってくれています。そうなのです。絵本は、こんなにもふしぎな魔法の力を持っています。

さて、そこで、私はこれから、

赤ちゃん、 絵本と、 静かな時間。

赤ちゃんとの、あわただしくも、楽しい日々を過ごしておられる皆さんに、赤ちゃんに絵本について、語りたと思います。

赤ちゃんへの最高の贈りもの

赤ちゃんは、お父さん、お母さん、たくさんの方の祝福を受けて、この世に生まれました。そんな赤ちゃんには、すでに、感じる力が備わっています。その感受性をいっばいに開いて、自分を祝福し、自分に寄り添ってくれる人たちの心を感じとり、自分自身を祝福し、自分自身を育てていく。そして、自分が生まれたこの世界は、いつまでも、どんなところかを、耳をすまして知ろうとしているのです。こうして赤ちゃんへの最高の贈りものは、祝福と静けさです。

赤ちゃんが目覚めている間は、テレビなど人工の音は消しましょう。赤ちゃんは、静けさのなかから聞こえてくる、お母さんの立ち働く音、風のそよぎ、小鳥のさえずり

この魔法を、少しだけ解いてお見せしようと思うのです。

1. すぐれた絵本を

一般に、絵本というと、「ああ、絵本ね」というように、すぐに「わかった」気になってしまえるもののようなものです。でも、私が、ここでお伝えしようとしている絵本は、そのような絵本とは、ずいぶん違います。

絵本が、前述のように、魔法の力を持つには、なにより、質の高いものであることが必要です。絵本であればなんでもよい、というわけでは決してありません。

幼年期の子どもは、たいへんな勢いで成長しています。ですから、その成長の時に、できるだけ質の高いものを伝えたい。そのようなものが、子どもをより一層、豊かに育てる力に恵まれているからです。

そのような絵本が、ごく少ないのですが、確かにあります。けれど、そのような絵本は、一般のイメージにあるような絵本の背後に押しやられていて、なかなか陽の目を見ることはありません。です

から、真にすぐれた絵本と巡り合うには、そのための眼力がんりきが必要です。私たちは、専門的な立場でそのお手伝いを続けてきました。

では、すぐれた絵本とはどんな絵本のことでしょうか。それは、子どもに、どんな良いものをもたらすのでしょうか。絵本の三つの要素——①絵②言葉③物語り——に沿って簡単に述べます。



① 美しいものへの感性

子どもは絵本を読んでもらいながら、いつしんに絵を見えています。絵本の絵は、子どもに見つめられるに足る美術であってほしい。そうすることで、美しいものへの感性を育てたいと思います。子どもに媚びた漫画的な絵や、いわゆる「かわいい絵」が絵本の絵にふさわしいわけではありません。

この想いのもと、私たち童話館は、絵本の絵を美術として展示する場として、長崎市内に「祈りの丘絵本美術館」を運営しています。